

2014年度夏学期 量子力学 II (浜口) 追レポート

2014年8月7日(木) 出題

- 追レポート対象者は物理学科掲示板(理学部1号館2階)に掲載。(出来るだけ掲示板での確認をお願いしますが、しばらく大学に来る予定がなく、自分が追レポート対象者かどうかメールで確認したい場合は浜口(hamaguchi@phys.s.u-tokyo.ac.jp)までメール下さい。)
- 提出期限: 8月21日(木) 12:00、締め切り厳守
- 提出先: メールで浜口(hamaguchi@phys.s.u-tokyo.ac.jp)まで送るか、物理学科教務係(理学部1号館208号室)まで提出すること。
- レポートには 名前と学生番号 を忘れず明記すること。
- 以下の問題に解答して提出すること。講義のホームページ <http://www-hep.phys.s.u-tokyo.ac.jp/~hama/lectures/lecture.html> にある 講義ノートおよび過去3年間の期末試験の問題と解答 が参考になるはずである。

問題【1】角運動量の合成

2つの角運動量演算子 $\hat{j}_{A,k}, \hat{j}_{B,k}$ ($k = 1, 2, 3$) を考える。これらは以下の関係式を満たすとする。

$$[\hat{j}_{A,k}, \hat{j}_{A,\ell}] = i\hbar \sum_m \epsilon_{k\ell m} \hat{j}_{A,m} \quad [\hat{j}_{B,k}, \hat{j}_{B,\ell}] = i\hbar \sum_m \epsilon_{k\ell m} \hat{j}_{B,m} \quad [\hat{j}_{A,k}, \hat{j}_{B,\ell}] = 0$$

また $\hat{j}_A^2 = \sum_k (\hat{j}_{A,k})^2$ 、 $\hat{j}_B^2 = \sum_k (\hat{j}_{B,k})^2$ とする。今、 $\hat{j}_A^2, \hat{j}_B^2, \hat{j}_{A,3}, \hat{j}_{B,3}$ の同時固有状態 $|m_1, m_2\rangle$ があり、

$$\hat{j}_A^2 |m_1, m_2\rangle = \frac{3}{4} \hbar^2 |m_1, m_2\rangle$$

$$\hat{j}_B^2 |m_1, m_2\rangle = \frac{3}{4} \hbar^2 |m_1, m_2\rangle$$

$$\hat{j}_{A,3} |m_1, m_2\rangle = m_1 \hbar |m_1, m_2\rangle \quad (m_1 = \pm \frac{1}{2})$$

$$\hat{j}_{B,3} |m_1, m_2\rangle = m_2 \hbar |m_1, m_2\rangle \quad (m_2 = \pm \frac{1}{2})$$

が成立しているとする。合成角運動量を $\hat{J}_k = \hat{j}_{A,k} + \hat{j}_{B,k}$ ($k = 1, 2, 3$) とし、 $\hat{J}^2 = \sum_k (\hat{J}_k)^2$ とするとき、 $\hat{j}_A^2, \hat{j}_B^2, \hat{J}^2, \hat{J}_3$ の同時固有状態を $|m_1, m_2\rangle$ の線形結合として表せ。答だけでよい。4つの独立な状態ベクトルについて具体的に係数を書くこと。

(2 ページ目に続く)

問題【2】一様磁場中のスピン

スピン 1/2 の状態

$$|\psi(t)\rangle = \alpha(t)|\uparrow\rangle + \beta(t)|\downarrow\rangle$$

が z 軸方向の一様磁場中の Schrödinger 方程式

$$i\hbar \frac{\partial}{\partial t} |\psi(t)\rangle = \hat{H} |\psi(t)\rangle, \quad \hat{H} = -g \frac{e}{2m} \hat{S}_z B_z$$

にしたがって時間発展しているとする。初期条件を $\alpha(0) = \beta(0) = 1/\sqrt{2}$ とするとき、時刻 t における y 方向のスピン期待値 $\langle \psi(t) | \hat{S}_y | \psi(t) \rangle$ を求めよ。ただしスピン演算子 \hat{S}_y 、 \hat{S}_z の行列要素は

$$\begin{pmatrix} \langle \uparrow | \hat{S}_y | \uparrow \rangle & \langle \uparrow | \hat{S}_y | \downarrow \rangle \\ \langle \downarrow | \hat{S}_y | \uparrow \rangle & \langle \downarrow | \hat{S}_y | \downarrow \rangle \end{pmatrix} = \frac{\hbar}{2} \begin{pmatrix} 0 & -i \\ i & 0 \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} \langle \uparrow | \hat{S}_z | \uparrow \rangle & \langle \uparrow | \hat{S}_z | \downarrow \rangle \\ \langle \downarrow | \hat{S}_z | \uparrow \rangle & \langle \downarrow | \hat{S}_z | \downarrow \rangle \end{pmatrix} = \frac{\hbar}{2} \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$$

で与えられる。

問題【3】摂動論

【3-1】1次元中の以下のハミルトニアン

$$\hat{H}_0 = -\frac{\hbar^2}{2m} \frac{\partial^2}{\partial x^2} + V(x)$$

where
$$V(x) = \begin{cases} \infty & (x < 0) \\ 0 & (0 \leq x \leq a) \\ \infty & (x > a) \end{cases}$$

のエネルギー固有状態を考える。

$$\hat{H}_0 \varphi_n(x) = E_n \varphi_n(x) \quad (n = 1, 2, \dots)$$
$$\int |\varphi_n(x)|^2 dx = 1$$

基底状態の波動関数 $\varphi_1(x)$ と基底エネルギー E_1 を求めよ。

【3-2】上のハミルトニアンに、摂動ハミルトニアン

$$\hat{H}' = \lambda E_1 a \delta\left(x - \frac{a}{2}\right)$$

を加えたとき、基底状態のエネルギーを λ の1次まで求めよ。

以上です。